

カデット大会に関する注意事項

1 競技上の注意

(1) 本大会は、現行の日本卓球ルール、宮城県中体連卓球競技規則及び競技上の注意を適用し実施します。なお、タイムアウト制は採用しません。

(2) 今年度の日本卓球協会のゼッケンを着用して下さい。

(3) アドバイザーについて

ベスト8決定後の試合より、アドバイザーとして1名のベンチ入りを認めます。それ以前以前の段階では大会運営の都合上、アドバイザーは認めておりません。御理解の上、御協力願います。

※1 アドバイザーは登録不要です。

※2 試合途中でのベンチ入りや、ベンチへの出入りを容認します。

※3 試合途中でのアドバイザーの交替は認めません。

(4) 抗議について

選手本人にのみ認められています。

(5) 最初にサービス・エンドのジャンケン、ラケット交換を行い、練習を3本して、試合を開始してください。

(6) ラバー貼り替えが必要な時は、進行席まで来てください。

(7) 審判について

① 初戦のみ相互審判、それ以降は敗者審判となりますのでよろしくお願いします。

② 可能な限り2人で審判を行うようにお願いします。特に、シングルスの際に気をつけてください。

③ カウンターが進行席に見えるように審判を行ってください。

(8) カウンターの使い方について

どちらかが10点をとると、カウンターを90度傾けてそのままにするという審判法が見られます。こうすると、カウンターが見えなくなる人が出てくるばかりでなく、カウンターが障害物になることもありえますので、このようなカウンター操作は行わないで下さい。90度傾けても構いませんので、ラリーが始まる前には元の位置に戻してください。

2 進行上の注意

- (1) 本大会は開会式直後以外はタイムテーブルを使用しません。待機場所であらかじめ選手の確認を行い、試合コート割り当てます。詳しくは次のページの「3. 競技の進行について」を御覧下さい。
- (2) 待機所に集合するときには、すぐに試合を始められる姿(エフォーム,ゼッケン着用)で来て下さい。
- (3) 試合終了後、負けた選手は、すぐに結果記録表を進行席に提出し、次の試合の審判を務めてください。
- (4) 選手が試合に集中できるよう、フロアでの試合観戦・あいているコートでの練習は行わないでください。
- (5) フラッシュを使つての写真撮影は、競技の妨げとなりますので、行わないように御協力ください。
- (6) ダブルスの進行は女子→男子の順番で進行します。(4, 5回戦まで)
シングルの進行は1年女子→1年男子→2年女子→2年男子の順番で進行します。
- (7) 会場で練習をするときに、「5本交代」などとルールを作り、5本ミスをするまで交代しない。なおかつ、その間ボール拾いに行く間他の選手を練習させないというトラブルが過去にありました。また、「1本交代をお願いします。」と話すと、「混んでるので違うコートに行ってください。」と断る選手も最近見られるそうです。朝のメインアリーナ、サブアリーナにおける練習については、特にルールというものはありませんが、お互いが譲り合つて、マナー良く使用するようによろしくお願いいたします。
- (8) 選手のチーム関係者、保護者以外の方が、許可なく動画撮影し、なおかつその動画をWEB上に掲載してしまうというトラブルが様々な競技で起きております。以下の点をご協力よろしくお願いいたします。
 - ・大会主催者としては、「本人・監督・保護者が、本人の競技記録や競技力向上のために、本人の競技を撮影する」という目的の場合のみ、撮影を妨げていない。
 - ・そのため、動画撮影をできるのは、本人・監督・保護者のみである。
 - ・よつて、第3者の撮影を禁ずる。(監督及び保護者の承諾を得た場合を除く。)
 - ・また、本人・保護者・監督であっても、撮影した動画のWEB掲載は禁ずる。

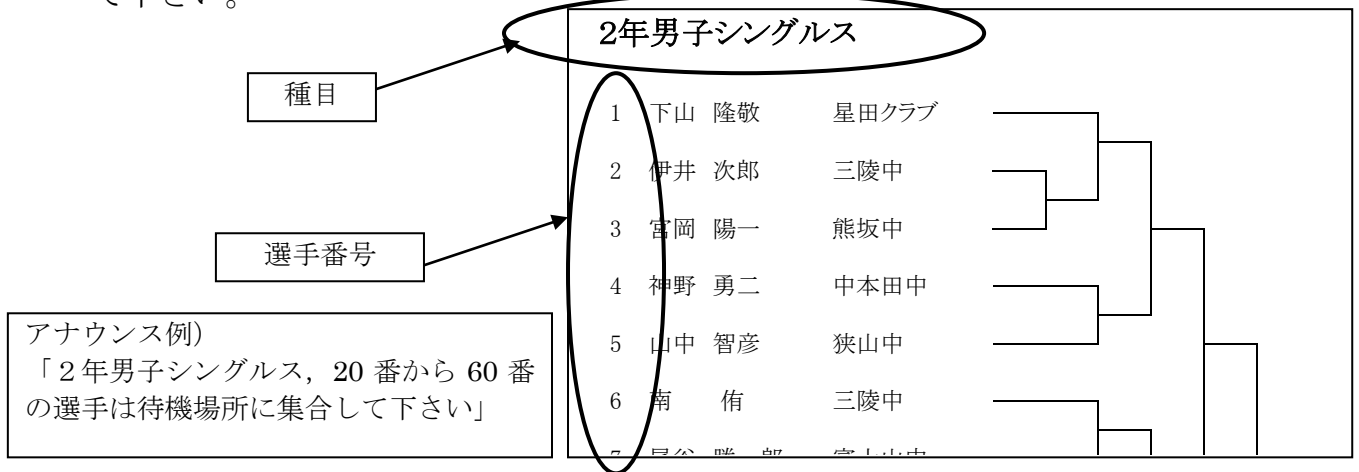
他チームの選手の試合を、自身のチームの参考にするために、動画を撮影するということはできないという解釈をお願いいたします。

3 競技の進行について

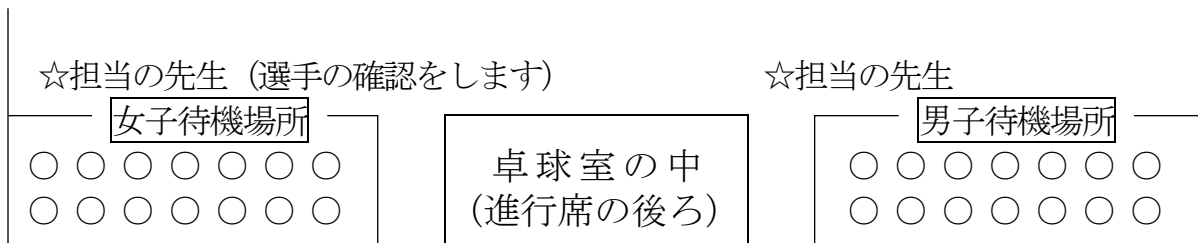
以下のことにつきまして、各校において事前にご指導をいただき、当日の進行がスムーズになるようご協力下さい。

(1) タイムテーブルは開会式直後の試合しかありません。

※ それぞれの試合をタイムテーブル化するのではなく、試合の近い選手を待機場所に集めておき、待機場所から順次試合を進めていく方式を採用します。召集のアナウンスは「種目」と「選手番号」で呼び出しますので、選手はそれらを暗記して下さい。



(2) 競技場フロアの一角に選手待機場所をもうけます。次の試合に出場する選手は待機場所で担当の先生のチェックを受けた上で、試合コートにはいることとなります。



待機場所で担当の先生から試合コートを指示されるので、静かに待っていること。

(3) 最初の試合のみ相互審判でおこない、その後は敗者審判となります。試合に負けた選手は自分の対戦カードを進行席に提出し、次の試合のカードを受け取って待機場所から次の試合を行う選手と一緒にコートへ行くこととなります。

以上を選手の動きとしてまとめると、次のページの通りになります。

【選手の動き】

- ① 観客席でアナウンスを聞く。(○ページから○ページの1回戦の選手)
↓
- ② 待機所に行き、競技役員の指示に従い、番号順にすわっている。
↓
- ③ 待機所の担当の先生から、試合をするように促される。
(○○中の○○君と○○中の○○君は試合ですよ、この審判の人について
いってください。)
↓
- ④ 審判と、相手の選手と一緒に、試合コートに行く。
↓
- ⑤ ジャンケンをして、練習を3本行い、試合開始。
↓
- ⑥ 試合の結果が出る。(勝ったら①へ) 負けたら、記録用紙を持ち、進行席へ。
↓
- ⑦ 記録用紙をはさむボードを持って、待機所に行き、担当の先生に渡す。
↓
- ⑧ 待機所の担当の先生から、試合の審判の指示を受ける。
(○○中の○○君と○○中の○○君の試合を審判します。○○コートにいって
ください。)
↓
- ⑨ 試合をする選手と一緒に、試合コート(原則自分が試合をしたコート)に行く。
↓
- ⑩ ジャンケンをさせて、練習を3本行わせ、試合開始。(記録を忘れない)
↓
- ⑪ 試合の結果が出る。負けた選手に記録用紙を渡し、観客席へ。

複雑な説明でしたが、

「自分の種目と選手番号を覚えて、放送があったら待機所に集合する」
ということができれば、試合ができます。

4 会場に関して

- (1) 観客席やロビーなどをご利用下さい。役員が巡回しますので、指示にはしたがってくださいますようお願いいたします。熱中症対策のため、こまめに水分補給をしてください。床にこぼさないように十分に気を付けてお飲みください。
- (2) ゴミはすべて持ち帰りをお願いします。
- (3) 座席指定を行いませんので、お互いにゆずり合ってご使用下さい。
- (4) 観客席の通路での応援はご遠慮ください。座席に座って応援してください。
- (5) 万が一破損があった場合は、速やかに進行席まで連絡をお願いします。

5 全国大会出場枠・表彰

- (1) 全国大会の出場枠は以下の表の通りですが、シングルス4種目の中から表の人数以外にペンホルダー選手かカット主戦型の選手1名が全国大会に出場することができます。これを「ペンホルダー・カット枠」と呼び、以下に詳しく説明します。

種目	全国枠
1年男子シングルス	4人
2年男子シングルス	4人
1年女子シングルス	4人
2年女子シングルス	4人
男子ダブルス	3組
女子ダブルス	3組

←この他に「ペンホルダー・カット枠」として、もう1名が全国大会に出場できる。

- (2) ペンホルダー・カット枠について

- ① ペンホルダー選手

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチラバー主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。

- ② カット型選手

- 1) カットを主戦とするプレースタイルの選手。

- ③ シングルス4種目の中で、最高成績を残した選手に全国カデット出場権を与える。

(但し、ベスト16以上に進出した者とし、該当者がいない場合には枠を放棄する)

- ④ 最高成績を残した選手が複数いた場合

A 同一性別のみの場合→直接試合を行って決める

B 男女種目にまたがる場合

→同姓同士で試合を行い、候補選手を男女各1名ずつに絞る。その2名のうち、平成31年度県総体個人戦でより上位の成績を収めた選手に全国カデット出場権を与える。それでも成績が同等であった場合は、抽選で決める。

- (3) 各種目ベスト8(5位)まで表彰します。

- ・ 5位表彰 …… 5位の4人が敗者審判を終えた段階で表彰します。
- ・ 1～3位表彰 …… 決勝戦後に表彰します。